

「地域に開かれた公共事業を目指して」

豊年橋現場見学会 <一般県道上斗米金田一線豊年橋工区の取組み>

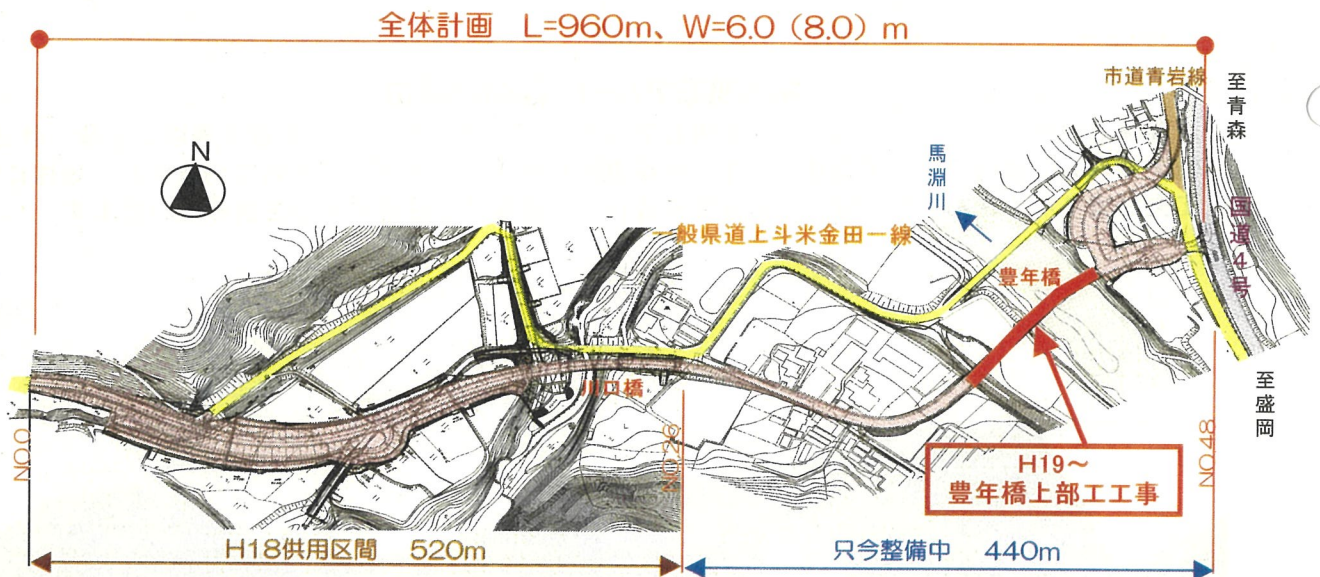
二戸地方振興局土木部

○事業概要等

一般県道上斗米金田一線豊年橋工区では、昭和38年に建設された老朽橋の架替え、また幅が狭く見通しの悪い急カーブ急勾配の道路の隘路解消を目的に、平成12年度から21年度の予定で整備を進めています。

これまで、下の絵のとおり、全延長960mのうち520mは完成し、地域の皆様等に利用いただいています。

当部では、地域の住民の方々に「公共事業への理解を深めていただきたい」また「地域の橋として愛着を持っていただきたい」との趣旨から、現在施工中の豊年橋上部工工事の現場見学会の開催を地元と呼びかけ、平成19年8月の着工から現在までに、地元の工業高校の生徒たちや、地元の住民の方々を対象に2回の現場見学会を開催しました。



●1回目 ~将来、二戸地域をしょって立つ若者たちと~

平成19年12月12日に福岡工業高校都市工学科2年生と先生方計17名が豊年橋上部工工事の現場見学に来ました。

地元では、最近まれにみる大型工事のため、工事内容等について福岡工業高校に情報提供したところ、「工事現場を実際に見ることが、生徒たちにとって仕事について何か考えるきっかけとなれば」ということから、授業の一環として現場見学したいという申し入れがあり、当見学会を開催することになりました。

見学会では活発に質問が出され、また見学会後は「あの工事の仕事って俺たちでもできるんですか?」といった言葉が生徒たちから聞かれるなど有意義な見学会となりました。



いらっしゃいませ!
ようこそ工事現場へ!



現場に設置された大きな工事説明看板の前で真剣に工事の説明を聞く生徒たち

工事中の橋の上にあがりました。真下は馬淵川です。ここではいろいろな質問が活発にだされました。

●2回目 ～事業にご協力いただいている地元住民の皆様と～

平成20年3月2日に地権者の方々を含む地元住民の皆様方計42名が豊年橋上部工工事の現場見学に来ました。地元の主要作物である葉タバコの出荷（二戸市は販売代金2年連続日本一！）が終わり、ホッと一息ついたところで現場見学会を企画したものです。

新しい橋ができれば「大型車のすれ違いができるようになること」また「洪水等の災害や地震に強い橋になること」等を説明し、豊年橋工区の事業について、理解を深めてもらうことができました。

また、家族連れで見学に来た方々もあり、子供たちもお父さん、お母さんとしっかり手を繋ぎながら工事の橋の上を歩くなど普段見ることのできない風景を楽しんでいる様子でした。

見学者からは「トラベラー[※]の移動方法」や「どんなコンクリートを使っているのか」また「この橋の寿命は何年か」といった質問が出され、回答を聞きうなずく様子が見受けられました。

また、「このような橋ができると安心だ」「早くできるといいな」といった声が聞かれるなど、終始和やかな雰囲気で見学会は進みました。

（※トラベラー：架設用移動作業車）



現場に設置された大きな工事説明看板の前で事業概要や架設方法等の説明をしました。



桁の上にあがり、トラベラーについての説明を聞いているところです。



建設中の豊年橋をバックにみんなで記念撮影をしました。帰りまでにプリントして全員に配布しました。



家族と来た子供たちです。大きくなっても豊年橋や道路を大切に使うことでしょ。

今回は豊年橋上部工の現場説明会でしたが、「今後の事業の進め方」や「工事期間中の道路の迂回方法」等の質問も個々に出されました。これらについても、適切な時期にできるだけ早く、地元の方々に情報を提供していくことで、地域に開かれた公共事業の推進を図っていきます。

また、二戸土木部では都市計画道路上野西法寺線新岩瀬橋上部工工事でも地域住民と福岡工業高校の生徒に対し同様に現場見学会を開催するなど情報発信に取り組んでいます。